

再生医学研究センター開設

歯科医療工学分野松家茂樹教授が代表として申請した「生体内環境を調和する硬組織再建システム」が、今年度、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択されました。このプロジェクトは5年間で約1億4,000万円の助成が予定されており、学内外の研究者のチームで実施されるものです。また、プロジェクトを効率的に推進させるための組織として9月の理事会で再生医学研究センターの開設が認められました。今回は、このプロジェクトがもたらすいろいろな可能性について代表者の松家教授に抱負を伺いました。

Q.今回、先生の申請が採択されておめでとうございます。まず、本プロジェクトの目的を教えてください。

A.ご存知のとおり高齢者は、口腔領域においても、歯周病や口腔癌等の骨喪失や骨脆弱化を伴う疾患が急速に増加しており、骨組織に対する再生治療の確立が要望されていますが、歯牙喪失によって急激に骨が萎縮したり、細菌感染しやすい等、骨組織再建が難しい環境にあります。本プロジェクトでは当面の目的として、骨形成を

促進するような生体内環境を誘導(骨形成バイオリクター)し、口腔領域における硬組織欠損の再建システムを構築したいと思っています。

Q.松家先生は新しく開設された再生医学研究センターのセンター長になられますが、このセンターの狙いとは何ですか。

A.研究計画を推進するためには、学内外、国内外を問わずプロジェクトに参加する研究者間の相互協力が欠かせません。現在、学内11名、学外3名(九州大学、クインメリー大学、バーミンガム大学)の研究者が本プロジェクトに参加しています。また、研究の方向によっては、新しい、あるいは異分野の研究者の参加も今後考える必要があります。そのため、センターを中心とした計画的なプロジェクトの遂行が重要だと考えています。センターでは、今後、共同研究の提案、新しい研究手法の習得を目的とした勉強会、セミナー等を開催していきたいと考えています。

Q.本プロジェクトを行うためにどのような環境整備を計画されていますか。

A.主な設備備品として、実験動物に埋入した材料の生体内での挙動を動物が生きたまま観察することができるin vivoマイクロX線CTスキャナ

(約5千万円)を設置しようと思っています。また、専任教員及び事務職員を採用する予定です。

なお、センターは、学内外研究者が自由に利用できるよう開放し、センター所属機器についても共同利用の申し出がある場合は、可能な限り便宜を図りたいと考えています。

Q.最後に、本プロジェクトの将来像について教えてください。

A.当面は、申請テーマの目的である硬組織再建システムの構築を目指して開発研究を遂行しますが、将来的には、生体材料と生体との関わりといった基礎的研究にも対象を広げ、工学のおよび生物学的分野が融合するような学際領域的な学問分野を作り出すことも視野に入れています。できれば、この研究を基礎とした硬組織の再建が臨床でも利用できるように頑張ろうと思っています。

このセンターを中心としたプロジェクトについて分かりやすく解説していただきました。この研究センターの活動は、本学の研究基盤を強化し、本学の研究推進の中心になっていくことが、強く印象付けられました。本日は、どうもありがとうございました。

本川前教授、名誉教授に

8月9日、本川渉前教授(成育小児歯科学分野)に福岡歯科大学名誉教授の称号が授与されました。



本川名誉教授は、昭和48年5月から、平成22年3月に定年退職されるまでの37年間、教育・研究・診療に大いに力を尽くされ、3期の病院長の任務を全うされるなど、教育改革や病院改革などに手腕を発揮されました。

大学院特別講義

7月12日、21日、本館5階501教室において、南カリフォルニア大学Yanase教授、ボストン大学Mochida准教授による大学院特別講義(公開講座)が開催されました。本学とYanase先生が所属する南カリフォルニア大学は、昨年国際交流の覚書を交わしており、今回が交流の第1歩になりました。大学院生をはじめ教員も熱心に耳を傾けていました。



7月12日 Roy T. Yanase
南カリフォルニア大学歯学部
臨床教授



7月21日 Yoshiyuki Mochida
ボストン大学歯学部
口腔生物学講座 准教授

文部科学省戦略的大学連携支援事業 『口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考』

第29回日本歯科医学教育学会学術大会シンポジウム

7月24日、岩手医科大学講堂において、第29回日本歯科医学教育学会学術大会のシンポジウムとして、『口腔医学を見据えた歯科医学教育の再考』(コーディネーター:本田武司常務理事)が開催されました。

北村憲司大学長、他5名のシンポジストによる講演が行われました。

口腔医学国際シンポジウムのお知らせ

日時:12月4日(土) 13:00~18:00
場所:アクロス福岡 4階国際会議場
テーマ:Grand Design for Future Dentistry
講演者:田中健蔵 理事長、M. Michael Cohen Jr. 教授 (Dalhousie University) Tateyuki Iizuka 教授 (University of Bern) David A. Nash 教授 (University of Kentucky) 高戸毅 教授 (東京大学)、戸塚靖則 教授 (北海道大学)
討論:《Facilitator》北村憲司 大学長
問合せは福岡歯科大学企画課まで

公開講座のご案内

第6回健康まると福岡歯科学園

日時:10月23日(土) 11:00~18:00、24日(日) 10:00~18:00

場所:福岡歯科大学

「田の歯科祭」・「からだの科学展」・「医科ミニ講座」・

「歯科無料相談」(24日のみ)

「短大企画 口から始める介護予防」・「介護無料相談・介護施設見学」

講演会

10月23日(土) 13:30~14:30

テーマ:「歯科医院で活用できる

アロマとイギリスでの医療社会」

講師:イネス多恵子

(ギルフォードカレッジ・オブ・アロマセラピー 学長)

10月24日(日) 13:30~14:30

テーマ:「ドライマウス・ドライアイ」

講師:池邊哲郎(福岡歯科大学口腔外科学分野 教授)

向野利一郎(福岡歯科大学眼科学分野 助教)

○受講料:無 料

○申込方法:受講希望日、氏名、年齢、性別、住所、電話番号を明記の上、電話、FAX、E-mail、またはハガキにて下記宛にお申込み下さい。受講票をお送りします。

○申込先:福岡歯科大学 企画課 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1

TEL:092-801-0411 FAX:092-801-3678 E-mail:kikaku@college.fdcnet.ac.jp

福岡歯科大学学会総会

日時:12月12日(日)

9:00~17:30

場所:福岡県歯科医師会館

大ホール

(福岡市中央区大名)

問合せ先:福岡歯科大学学会事務局

TEL:092-801-0411

E-mail:gakkai@college.fdcnet.ac.jp

地下鉄七隈線

沿線3大学

合同シンポジウム

日時:平成23年1月22日(土)

場所:福岡大学病院

福大メディカルホール

テーマ:「メタボ・糖尿病の克服に

向けて」

~口腔・栄養・代謝から見た管理・

治療戦略~

田中理事長、宮崎宮放生会の灯籠揮毫

福岡市東区の宮崎宮で開催された放生会において、田中健蔵理事長揮毫の灯籠「節義の心」が展示されました。



田中理事長と展示された灯籠